

京都

Kyoto
Prefectural
Newsletter

きょうと府民だより

2025年
[令和7年]

1
月号



VOL.525

点字版、文字拡大版、音声版を
ご希望の方はご連絡ください。

本紙の内容をWeb
でも公開しています。



令和6年の府政
ダイジェスト

大阪・関西万博と
京都を結ぶ
イベント盛りだくさん!

クローズアップ京都府

府警あんぜん広場

暮らしガイド
KYOTO Information

継承と創造

京都文化を世界へ

新春対談

京都府知事
西脇 隆俊

歌舞伎俳優
松本 幸四郎 さん



令和7年 年頭のごあいさつ 京都府知事 西脇 隆俊 京都府議会議員 石田 宗久

題字: 京都府知事 西脇 隆俊

府議会一丸、 新しく、しなやかな議会へ

京都府議会議長 石田宗久



明けましておめでとうございます。令和7年の年頭に当たり、府民の皆さまに謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月には初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。改めて「危機管理」がいかに行政における根幹的な役割であるか、ということを感じた一年であり、新しく整備した常設の危機管理センターを拠点として、全ての営みの土台となる府民の皆さまの安心・安全の確保に全力で取り組んでまいりました。

一方で、昨年は府立植物園や京都丹後鉄道・宮津線が100周年を迎えるとともに、国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続で京都で盛大に開催し、次の100年に向けて多様な価値を生み出していく新たな一歩となった一年でもありました。

「万巻の書を読み、万里の道を行く」。これは「最後の文人画家」と称された富岡鉄斎の座右の銘です。書物を読み各地を巡って多くの事象に触れることを実践した彼は、その経験の中から多様な価値を見出しました。都として交流の中心地であった京都には、鉄斎のような人々や文化が行き交い、そうした交流の中から人々の心の発露が文化という価値となつて、京都から各地へもたらされました。新しい価値は絶え間ない交流から生まれます。文化庁とも手を携へつつ府内各地の多彩な文化の掘り起こしや磨き上げを行い、京都が守ってきた「人のつながり」を大切に、誰もが未来に夢や希望を持てる「あたたかい京都づくり」をさらに進めてまいります。

さあ、いよいよ大阪・関西万博が開催されます。日本における最初の博覧会が1871年にここ京都で開催されて以来一世紀半。今も昔もイノベーションが京都で生まれ続けているのは、技術の進歩を人々の幸せに結び付ける文化と心根が京都に息づいているからにほかなりません。今こそ私たちが大切に受け継いできた「継承」と「創造」の精神で新しい価値を生み出し、世界の人々を府内各地へいざない、大きな交流をつくり出すことで、京都からの輝く未来を切り拓きたいと考えております。

今年も、再生と変化を象徴する巳年。時流を柔軟に捉え、努力を重ねながら、皆さまと共に進んでまいれる所存です。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

明けましておめでとうございます。令和7年の年頭に当たり、府民の皆さまに謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍の制約から脱し、本格的なポストコロナ期を迎えました。京都府議会では、かねてより友好交流を続けているカナダ・ケベック州議会をお迎えし、互いの地域が持つ共通課題などについて意見交換を行いました。開園100周年を迎えた府立植物園にて行われました「LIGHT CYCLES KYOTO」がケベック州政府の特別後援のもと実施されるなど、さまざまな交流が行われたところです。

また私自身、京都府議会議長就任2年目を迎え、府民に開かれた議会への新たな取り組みを積極的に進めてまいりました。昨年3月には、京都府議会と京都府立大学との間で包括連携協定を締結し、地域が抱える課題に的確に取り組むとともに、魅力ある地域づくりの推進や人材の育成に資することを目的として、議員と大学生による合同調査などを行いました。今後とも地域に根差した学術研究機関である京都府立大学と一層連携を深め、府政のさらなる推進と地域課題の解決に取り組んでまいります。

一方で、昨年は多くの災害が発生した年でもありました。特に、能登半島が度重なる災害に見舞われたほか、8月には日向灘を震源とする地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、府民の皆さまにも大きな不安をもたらしたと思います。災害が激甚化・頻発化する中、万が一に備えるための確かな災害対策の必要性を痛感したところでもあります。

今年の干支は巳であり、蛇は脱皮をして新しい姿に生まれ変わることから、変化・再生の象徴とされています。本年が能登半島の復旧・復興への大きな足掛かりとなることを願いますとともに、コロナ禍による制約がなくなり、人々の交流が活発となる中、時勢に合った柔軟な議会運営に努めてまいります。府民の皆さまの代表として、不断の努力をもって政策への審議を尽くし、この先行き不透明な情勢にあつて、時に柔軟でしなやかに、時に新しきを取り入れ、京都府議会は一丸となつて、府民生活の向上を目指し活動してまいります。

結びに、本年が府民の皆さまにとって素晴らしい一年となりますようお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

京都から いのち輝く未来を切り拓く

京都府知事 西脇隆俊



明けましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月には初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。改めて「危機管理」がいかに行政における根幹的な役割であるか、ということを感じた一年であり、新しく整備した常設の危機管理センターを拠点として、全ての営みの土台となる府民の皆さまの安心・安全の確保に全力で取り組んでまいりました。

一方で、昨年は府立植物園や京都丹後鉄道・宮津線が100周年を迎えるとともに、国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続で京都で盛大に開催し、次の100年に向けて多様な価値を生み出していく新たな一歩となった一年でもありました。

「万巻の書を読み、万里の道を行く」。これは「最後の文人画家」と称された富岡鉄斎の座右の銘です。書物を読み各地を巡って多くの事象に触れることを実践した彼は、その経験の中から多様な価値を見出しました。都として交流の中心地であった京都には、鉄斎のような人々や文化が行き交い、そうした交流の中から人々の心の発露が文化という価値となつて、京都から各地へもたらされました。新しい価値は絶え間ない交流から生まれます。文化庁とも手を携へつつ府内各地の多彩な文化の掘り起こしや磨き上げを行い、京都が守ってきた「人のつながり」を大切に、誰もが未来に夢や希望を持てる「あたたかい京都づくり」をさらに進めてまいります。

さあ、いよいよ大阪・関西万博が開催されます。日本における最初の博覧会が1871年にここ京都で開催されて以来一世紀半。今も昔もイノベーションが京都で生まれ続けているのは、技術の進歩を人々の幸せに結び付ける文化と心根が京都に息づいているからにほかなりません。今こそ私たちが大切に受け継いできた「継承」と「創造」の精神で新しい価値を生み出し、世界の人々を府内各地へいざない、大きな交流をつくり出すことで、京都からの輝く未来を切り拓きたいと考えております。

今年も、再生と変化を象徴する巳年。時流を柔軟に捉え、努力を重ねながら、皆さまと共に進んでまいれる所存です。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

令和6年の 府政

この一年間の主な京都府の取り組みを、
月ごとに振り返ります。

- 1月** 令和6年能登半島地震に係る職員派遣(5日)
- 2月** 府立植物園開園100周年オープンイベントを開催(5日~8日)
- 3月** 京都府危機管理センターの運用を開始(1日)
- 4月** 宮前千歳線(北ノ庄バイパス)の全面供用を開始(18日)
- 5月** 「いろは呑龍トンネル」で調整池の供用を開始(26日)
- 6月** 私立高校あんしん修学支援制度を拡充(1日)
- 7月** 府立医科大学附属病院を救命救急センターに指定(1日)
- 8月** 府立医科大学大学院医学研究科「北部キャンパス地域医学コース」開設(1日)
- 9月** 「新生・京都府立大学」学部学科を再編(1日)
- 10月** 「府市トップミーティング」を初開催(11日)
- 11月** 京都丹後鉄道宮津線(西舞鶴~宮津間)100周年(12日)
- 12月** 京都府のユニコーン企業の誕生を発表(1日)
- 1月** 「京都府企業人材確保センター」京都お仕事相談窓口」を開設(10日)
- 2月** 「WEFクラブ赤ちゃんプロジェクト」応援自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 3月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 4月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 5月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 6月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 7月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 8月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 9月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 10月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 11月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)
- 12月** 「京都府赤ちゃんプロジェクト」赤ちゃん自販機」をイオンモールKYOTO・京都駅ビルなどに設置開始(13日)



歌舞伎俳優

松本幸四郎 さん

歌舞伎俳優であると同時に、舞台や映画、ドラマなどでも幅広く活躍する、十代目松本幸四郎さんを迎え、京都との縁、歌舞伎や時代劇を受け継ぐ上での思い、そして、松本さんがアンバサダーを務める今年の「大阪・関西万博」への展望などについて語り合いました。

Profile

松本 幸四郎 さん

1973年1月、六代目市川染五郎(二代目松本白鸚)の長男として東京都に生まれる。79年、歌舞伎座『狭客春雨傘』で三代目松本金太郎を襲名し初舞台。81年には歌舞伎座『仮名手本忠臣蔵』で七代目市川染五郎を、2018年に歌舞伎座 高麗屋三代襲名披露公演『壽 初春大歌舞伎』で十代目松本幸四郎を襲名。古典から新作まで幅広い演目に取り組む一方、俳優として映画やドラマでも活躍。大阪・関西万博のアンバサダーも務める。

京都は「自分を育ててくれた場所」

西脇 松本さんとのご縁は2018年、南座発祥400年 南座新開場の時でしたね。69人も歌舞伎役者さんが紋付袴姿で練り歩くさまは実に壮観でした。
松本 あれはすごかったですね。やはり

歌舞伎発祥の地である南座の前で、その歴史の重さや伝統の厚みを肌で感じながら歩いた「お練り」には、格別の思いがありました。
西脇 新開場した南座の舞台で、私も「翁渡しの儀」を初めて経験させてもらいました。あの日、お父上の白鸚さん、幸四郎さん、ご子息の染五郎さんが三代襲名披露されたお姿も鮮明に覚えています。
松本 実は前回(1981年)の南座新開場

の時も、私は染五郎として三代襲名披露をさせていただいたんですよ。
西脇 何と2回目とは、南座、そして京都とは浅からぬご縁がおありなんですね。
松本 そうなんです。祖父の代からお付き合いのある方から「この前の舞台、先代はもつとこうだったよ」とご指摘を頂くことも…。そんなふうにお客さまから厳しくも温かい目で見守られ、育てていただけ

場所は京都しかありません。

西脇 京都は日本の映画発祥の地でもあり、京都の撮影所から数々の時代劇の名作が世に出ました。昨年、公開された松本さん主演の映画『鬼平犯科帳』も京都で撮影されていますね。
松本 ええ。叔父が最初の『鬼平犯科帳』を撮影した時にスタッフだった方が今回、監督をされたんですよ。私自身、京都の撮影所には10代の頃からお世話になっていて、監督はもちろん、照明や音響、衣裳など、関わる全てのスタッフから、教え切れないほど多くのことを学びました。ここでの撮影は緊張感がありますし、毎回よい刺激を受けています。いろんな意味で、京都は私にとって自分を育ててくれた特別な場所です。

文化は日常の中にあつてこそ

西脇 松本さんは6歳で初舞台に立たれたわけですが、幼少期は歌舞伎とどのように向き合っておられたのでしょうか。
松本 物心つく前から祖父や父の舞台を観て、歌舞伎を「格好良いもの」と感じて育ちました。遊びは、もっぱら歌舞伎(こ)で。特に『勧進帳』の弁慶に憧れて、よくまねをしていました。幼い頃から踊りや歌の稽古にも通っていましたし、歌舞伎は日常の中にあるものだったんです。いま振り返ると、とても貴重な経験だったことを実感します。(次ページへ続く)

大阪での襲名披露公演で『勧進帳』の弁慶を勤める松本幸四郎さん=2018年7月、大阪市中央区の大阪松竹座©松竹▶

2歳の頃、弁慶に扮装して遊んだ(松本幸四郎さん提供)▼



京都府知事

西脇隆俊



継承

Inheritance and Creation

と創造

京都文化を世界へ



▲府内の小中学校や特別支援学校に、文化芸術体験事業の専門家を派遣する「学校・アート・出会いプロジェクト」の様子

西脇 やはり子どもの頃から、本物を体験することは、文化を継承していく上でも非常に重要ですね。府では、文化の心次世代継承事業の一環で、「学校・アート・出会いプロジェクト」を実施し、古典芸能や伝統工芸、音楽、美術など、さまざまな分野の専門家を学校に派遣し、子どもたちが文化に触れる機会を創出しています。

松本 伝統芸能は「難しいもの」というイメージを持っている人も多いので、まずは子どもたちに、映画を見に行くのと同じくらい身近な選択肢として、「歌舞伎を見に行きたい」と思ってもらえるようになるとうれしいですね。文化って肩肘張るものではなく、日常に存在するものだからこそ、今日まで残っているものだと思います。

西脇 そうですね。京都では神社仏閣がその典型例かもしれませんが。歴史的建造物を単に遺跡として保存するのではなく、毎日お経をあげたり、参拝者が訪れたり、そこへ何らかの営みがある。各家庭の日常生活でも、折々にお花を生けたり、急須でお茶を淹れたりする中に文化が息づいています。一昨年、文化庁が京都に移転し、食文化や文化観光、さらにはマンガやゲームなど、より幅広い分野を文化として守り発展させようという動きが進んでいます。

挑戦から始まる 新たな文化の創造

松本 京都は、古いものがただ残っている場所というわけではないですね。実は歌舞伎も、新作は京都で積極的に生み出されていて、南座の初演から全国に広がった作品も多いんです。文化を守るだけでなく、そこに新しい要素を採り入れたり、独自の価値観を加えたりしながら革新的に進化してきた。それが京都の面白いところであり、魅力でもあると思います。

継承してきたのは、 工夫し革新し続ける精神

革新と創造を重ねて、 文化を次代へつないでいく



西脇 伝統に根差し、革新を続けてきたという文化的な背景があるからこそ、ハイテク企業が育つというのも京都の特徴なんです。清水焼や京仏具、西陣織などをルーツに持つ町工場が、日本を代表するグローバル企業に成長した例も少なくありません。

松本 映画の制作に関しても、京都には時代劇を作ってきた歴史があり、その技術が昨年、第76回エミー賞で史上最多18部門を受賞したドラマ『SHOGUN 将軍』で世界をうならせましたよね。

西脇 あの作品では、かつらや殺陣指導などに京都の撮影所の専門家が起用されたそうですね。この世界に誇るべき技の集積を活かすとともに、次世代の映像技術の開発と人材育成を図るため、「太秦メディアパーク構想」に基づいて、AR・VRなどを学ぶアカデミーの設立や企業の誘致を推進しているところなんです。

松本 それは楽しみです。最近、時代劇にもCGなど新たな技術がどんどん採り入れられていますからね。



▲2023年6月に松竹京都撮影所で「京都におけるコンテンツ産業の強みと未来」をテーマに、映画やアニメ、ゲーム、メタバースの各分野に携わる方々と共にトークイベントを開催

西脇 京都に千年以上の時を越えて伝統文化が継承されてきたのも、常に時代ごとの変化を捉えながら、革新と創造を重ねてきたからなんです。だからこそ時に淘汰されない強さがある。

大阪・関西万博に 向けて

西脇 いよいよ今年4月に開幕する「大阪・関西万博」で、松本さんはアンバサダーを務めておられます。万博への思いをお聞かせ願えますか。

松本 まずは歌舞伎の世界に身を置く立場として、伝統芸能の魅力を世界に発信したいと思っています。万博は世界中から日本に人が集まる機会ですから、開催地である関西の中で、とりわけ文化の中心地、京都への注目はより高まることでしょう。そんな京都にお住まいの皆さんには、この地で先人たちが伝統を守り、進化させてきたことにぜひ誇りを持っていただいて、この万博を京都の文化の持つ「創造の力」を発信する機会にしたいです。



西脇 世界をうならせるということでは、松本さんは海外公演にも積極的に取り組み、2015年にラスベガスのベラージオの噴水で『鯉つかみ』を上演されていますね。

松本 歌舞伎のアクションと噴水、映像技術を組み合わせるといって実験的な取り組みでした。演出を考えるに当たって現地スタッフに相談したら「何ができるかではなく、あなたが何をしたいかだ」と言われてハッとしたんです。これは歌舞伎の精神にも通じることだなと。

西脇 「傾く」という語源の通り、歌舞伎はまさに新しいことへの挑戦から始まった舞台芸術ですからね。

松本 ええ。江戸時代から今日まで上演し続けている作品が多くある一方で、当時のまま上演しているものは一つもありません。なぜなら、いつの時代も「今を生きる人たちにどう感動していただくか」を考え、試行錯誤を重ねてきたからです。先輩方が教えてくださったのはあくまで基本の型で、「ここからどう工夫するかはキミ次第だよ」と自分で考えさせる。私たちが継承してきた伝統は、この「工夫する精神」そのものなんです。

西脇 そうですね。今回の万博に向けて、府では各市町村、経済界などと一体となつて、オール京都体制での取り組みを進めています。そうした取り組みの一環である「きょうとまるごとお茶の博覧会」 「Music Fusion in Kyoto」音楽祭といったイベントを通して、国内外から訪れる方々に府内各地を周遊していただきたいと考えています。

松本 いいですね。私もぜひ「もうひとつの京都」を巡ってみたいと思います。

西脇 万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。さまざまな先端技術が集いますが、技術の土台となる創造や革新の精神は京都に息づく文化の中に継承されています。そんな京都文化を世界へ発信し次代へつないでいく機会とするとともに、万博がこれからの京都づくりの足がかりにもなるよう、府民の皆さんと共に盛り上げていきたいと思っています。本日はありがとうございました。



▲大阪・関西万博における関西パビリオン京都ブースのイメージ。「一座建立」をテーマに一定期間ごとに展示を替えながら京都の多面的な魅力を世界へ発信します



特集



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク
©Expo 2025

開催は令和7年4月13日から10月13日 // 大阪・関西万博と京都を結ぶ

産業

伝統から先端技術まで
ものづくりの都の底力を生かす

Flagship Action ⑦

けいはんな万博 2025

けいはんな学研都市で生まれた技術を体験・実感できる「ロボット・アバター・ICT」をはじめ、4大テーマでフェスティバルを開催。

4~10月

Flagship Action ⑧

スタートアップ イベント

世界からスタートアップ企業や投資家を呼び込むため、大阪や神戸と連携し、京阪神の街中で交流会、商談会、ピッチコンテストなどを実施。

7月

Flagship Action ⑨

京都国際マンガ・アニメフェア

「京まふ」の愛称で知られる西日本最大規模のマンガ・アニメのイベント。伝統産業などとコラボした商品の販売なども実施。

9月

観光

「文化・環境」や「産業」を生かし、
交流と連携を
生み出す

Flagship Action ⑩

京都の川巡り

「川」をキーワードに、府の魅力を再構築。淀川クルーズや電車マルシェ、沿川の観光スポット巡りなどからなる「淀川舟運フェスティバル」を開催。

5月

Flagship Action ⑪

“ほんまもん”を伝える「食の京都」レストランスペシャル

京都産食材を使用した特別メニューを提供する京都レストランスペシャルの開催や、食の関係団体と連携した事業などの取り組みを推進。

今後発表予定

※令和6年12月4日時点の情報を基に作成しています

EXPO KYOTO

万博と京都を結ぶ Official site

自治体、企業、そのほか団体などによる万博に向けたイベントや取り組みを紹介中!



公式SNSにも最新情報を随時UP!



最新情報は「こちら」でチェック!

各取り組みの詳細はWebでもご覧いただけます



「京都イロドリEXPO」というJR西日本大阪・関西万博ラッピング車両



きょうとまるごとお茶の博覧会プレイベントでのPRの様子

各イベントでのPR活動など

さまざまなイベントにてブース出展を行い、大阪・関西万博に向けた京都の取り組みを発信しています。

●「京都イロドリEXPO」というJR西日本大阪・関西万博ラッピング車両

●「文化・環境」「産業」「観光」などの分野の取り組みを位置付けています。

●アクションプランは、事業の進捗状況や新規事業の検討も踏まえながら、定期的に改定を行っています。

●基本構想を踏まえ、「地域」の特色を生かした、「文化」「環境」「産業」「観光」などの分野の取り組みを位置付けています。

●「万博の機運醸成の取り組み」や「万博会場から京都府内各地への誘客など、府内の活性化を目的とする取り組み」の中から、イベント、会議、展示会、ツアーなどとして具体的に記載されたものです。

大阪・関西万博きょうとアクションプランについて



▲第3回同委員会開催時の委員一同

「大阪・関西万博きょうと基本構想」はこちら



行政や経済界、関係団体の長および有識者などのオール京都体制により設置。大阪・関西万博を契機に京都産業の強みや府内各地の文化・観光資源などを国内外へアピールし、交流促進によって京都の発展につなげます。「大阪・関西万博きょうと基本構想」を決定し、基本構想に基づいて万博会場での展示・催事、府域における機運醸成・誘客促進事業などを実施します。

大阪・関西万博きょうと推進委員会について

京都府における大阪・関西万博に向けた取り組み

イベント盛りだくさん!

「大阪・関西万博」を契機に京都府の魅力を国内外に発信。人や投資を呼び込むことで経済の活性化や地域振興につなげるため、府内では11のフラッグシップアクションをはじめ230以上の取り組みが進行しています(令和6年12月4日現在)。

文化・環境

歴史と自然に育まれてきた「心」を未来へ受け継ぐ

Flagship Action ①

京都駅周辺エリア まるごとゲートウェイ

京都駅周辺エリアを府域への玄関口として、府域の万博関連イベントなどの発信拠点を京都駅に設置。京都の文化や芸術に親しむ機会を創出。

4~10月

Flagship Action ②

きょうとまるごとお茶の博覧会

府内各地でお茶に関するさまざまな事業を展開。万博を契機に京都の茶文化を発信するイベントや、お茶を通じた国際交流などの取り組みを実施。

4~10月

Flagship Action ③

和食と世界の食サミット

ユネスコ無形文化遺産「和食」の発信と世界の食文化との交流に向けて、食の祭典など「食」関連イベントを開催。

5~6月

Flagship Action ④

KYOTO 地球環境の殿堂 国際会議・未来会議

京都議定書発効から20周年となる2025年、万博を機に「KYOTO地球環境の殿堂」のスペシャルバージョンとして取り組みを実施。

4~9月

Flagship Action ⑤

Music Fusion in Kyoto 音楽祭

音楽家をはじめ、音楽家を夢見る子どもや若者が集まり交流するなど、音楽が日常にあり、あらゆるジャンルの音が融合し京都中を彩る音楽祭を開催。

5月~

Flagship Action ⑥

LIGHT CYCLES KYOTO (ライトサイクルキョウト)

府立植物園で光と音に包まれ、植物たちの世界を体験できるインスタレーションを実施。京都の新たな夜の文化観光コンテンツを世界に発信。

今後発表予定

行き活きトーク

食による地域活性化について(城陽市)

府政のニュース&トピックス

京都府

クローズアップ

現場訪問

山城地域で地域活性化に取り組む皆さんと「行き活きトーク」

西脇知事が府内の皆さんと語り合い、頂いたご意見を府政に活かす「行き活きトーク」。11月10日には、山城地域の食が楽しめる「宇治茶・山城ごちそうフェスタ」の会場を訪問。地域活性化に取り組み方や茶業の振興に尽力する方、地元農家の方と、食による地域活性化について意見交換を行いました。



▶ 地元特産の梅を使ったお菓子なども販売

▶ オリジナル玄米茶づくりを体験



参加者の声

▲ 城陽五里五里の丘で開催された同フェスタ

- 観光誘客のためには、地元の人たちの中に観光客を歓迎しようという雰囲気醸成していくことが大切。行政と連携し、二次交通網や宿泊施設の拡充、さらには観光を入り口とした山城地域全体の活性化を目指していく。
- お茶を味わうこと自体が、京都の伝統を楽しむことにつながっている。高まる宇治抹茶の需要に応えるため生産能力を強化するとともに、試飲体験を通じて急須で淹(い)れるお茶の良さを伝えていきたい。
- 春菊などの野菜を周年栽培しているが、認知度の向上や人材確保には課題も。日本全国にPRするためのパッケージなども新たに作って、山城地域の野菜をブランド化していきたい。



トークを終えて…

「お茶」や「食」、「文化財」といった山城地域が誇る資源を組み合わせることで、観光客や地元の方に地域の多様な魅力を伝える取り組みを皆さんと共に続けていきたい。さらに、鷲峰山(じゅうぶざん)トンネル開通など、交通基盤の充実も踏まえ、より一層の地域活性化に取り組んでまいります。

問 広報課 TEL 075-414-4071 FAX 075-414-4075 行き活きトーク Q

観光

「まるつと京都」周遊観光ツアーを販売中

京都府および京都市では、京都府知事と京都市長による「府市トップミーティング」において、府市連携による周遊観光を一層推進していくことを確認し、共通キャッチコピーを「まるつと京都」に決定しました。「山科・醍醐と宇治」、「京北と美山」、「西京と竹の里・乙訓」など、府市のさまざまなエリアを組み合わせた魅力的なツアーの販売を開始しています。皆さんも京都府内を楽しく巡ってみませんか。



府市トップミーティングでの西脇知事と松井市長

詳細はこちら



設備

向日町競輪場敷地内に京都のシンボルとなるアリーナを整備

府は京都アリーナ(仮称)の設計施工から維持管理・運営までを一体的に実施する事業者として、伊藤忠商事(株)を代表企業とするグループを優先交渉権者に選定しました。

プロスポーツやコンサートなど幅広く活用できる施設とし、地域の交流拠点となる開かれた空間(広場)を設けることにより、スポーツや経済振興など「まちづくり」につながる計画として進めていきます。



外観イメージ(令和10年10月開業予定)

問 文化施設政策監付 TEL 075-414-4670 FAX 075-414-4255

問 観光室 TEL 075-414-4843 FAX 075-414-4842

京都 省エネ家電 購入キャンペーン

キャンペーン
サイトはこちら



最大2万円相当を還元

製品購入・設置対象期間は1月末まで

締切
間近

製品購入・設置対象期間／～1月31日(金)

ポイント申請期間／～2月5日(水)

ポイント交換対象期間／～2月15日(土)

京都省エネポイント(電子マネー「region PAY」)

利用期間／～2月28日(金)

下記をすべて満たす方が対象となります

対象

- 京都府内に居住している者(個人)が自ら居住する京都府内の住宅に設置するために購入・設置すること
- 京都府内の対象店舗で対象製品を購入していること
- 「京都府インターネット版環境家計簿」に登録していること

対象の
店舗は
こちら▶



環境
家計簿は
こちら▶



※申請の流れや、申請に必要なもの、申請時の注意ポイントなどはキャンペーンサイトでご確認ください
※キャンペーンは予算額の上限に達し次第、予定より早期に終了する場合があります

環境

冬こそ、地球にも家計にも優しく
京都省エネ家電購入キャンペーン(1月末まで)

温室効果ガス排出量削減に向け、府民の皆さんの脱炭素型ライフスタイルへの転換を推進するため、府では、一定の省エネ性能を有するエアコンまたは冷蔵庫を

購入した方に、最大2万円相当のスーパーなどで使える電子マネー(府内利用限定)や牛肉などの府内産品を還元するキャンペーンを実施しています。

エアコン

冷房能力	統一省エネラベル 省エネ性能	交付額
~2.2kW(6畳用*1)	★3.0以上	10,000円相当
2.5kW~2.8kW(8~10畳用*1)	★3.0以上	15,000円相当
3.6kW~(12畳用以上*1)	★2.0以上	20,000円相当

冷蔵庫

容量	統一省エネラベル 省エネ性能	交付額
~350L(1~2人用*2)	★2.0以上	5,000円相当
351L~450L(2~3人用*2)	★3.0以上	15,000円相当
451L~(3~4人用以上*2)	★4.0以上	20,000円相当

対象製品・
ポイント交付額

10年前の製品から
買い替える...

約15%省エネ^{※3} (年間電気代) 約4,120円お得^{※3}

機能も
進化

- ▶ キレイな空気をキープ
- ▶ 手間をかけずにお手入れ簡単
- ▶ 進化した機能で快適&節電

約35%~約42%省エネ^{※4}

(年間電気代) 約4,560円~約6,110円お得^{※4}

機能も
進化

- ▶ 大容量で収納力アップ
- ▶ 省スペース化
- ▶ 鮮度長持ち&使いやすい

※1: 畳数は目安です。住宅の建て方などの条件により異なるため、販売店にご相談ください ※2: 人数による容量は目安です。販売店にご相談ください
※3: 2012年製(省エネ性能平均クラス)と2022年製(多段階評価★3.0以上)を比較した場合(冷暖房兼用・壁掛け形・冷房能力2.8kW)
※4: 2012年製と2022年製を比較した場合(定格内容積401L~450L)

問 キャンペーン事務局 TEL 050-5538-3113 FAX 075-414-4705 (脱炭素社会推進課)

ぜひ「友だち」追加でご登録を！ 京都府LINE公式アカウント

ポイント

1 欲しい情報だけ受け取れます
メニューの「受信設定」から欲しい情報を選択できます。

- 暮らし
- 防災
- 子育て
- 雇用
- イベント
- 観光 など

ポイント

2 最新の防災情報をキャッチ!
お住まいの地域の最新の防災情報を受け取れます。

こちらから
ご登録
くださいまし~

※会見や災害関連情報など重要なものについては、全登録者に配信する場合があります



令和7年1月

府警 第198号 あんぜん広場

京都府警察
スローガン

千年を守る 未来を創る



府警公式
ホームページ



府警公式
Facebook



府警公式
Instagram



府警公式
YouTube

府民の皆さまに、 謹んで新年のご挨拶を申し上げます

旧年中は、警察業務の各般にわたり、
ご理解とご協力をいただき、
誠にありがとうございます。

京都府警察では、本年、総力を挙げて
取り組むべき業務方針として
「京都平安策2025」を策定しました。

特殊詐欺などの悪質な犯罪の徹底検挙をはじめ、
交通事故防止対策など、府民の安全・安心を脅かさ
さまざまな重要課題に敢然と立ち向かい、
府民の皆さまに「安全・安心なまち京都」を
より一層実感いただけるよう、
府警は一致団結して、各種取組を
着実に進めてまいります。

本年も引き続き、警察に対するご支援を賜りますよう、
お願い申し上げます。

この一年の皆さまのご健勝とご多幸を
心からお祈り申し上げます。

京都府警察本部長
吉越 清人



京都平安策2025

基本姿勢

力強く頼りがいのある警察

推進重点

- 1 子供、女性、高齢者等の安全確保と
犯罪被害者支援の推進
- 2 犯罪から府民を守るための取組の
推進
- 3 安全で快適な交通社会の実現
- 4 サイバー空間における対処能力の
向上
- 5 重要凶悪事件の徹底検挙と組織犯罪の
摘発強化
- 6 緊急事態等への的確な対処
- 7 社会情勢の変化に対応するための
組織づくり

府警 INFORMATION

令和7年 京都府警察年頭視閲式

1月18日(土) 10時～11時30分

所 岡崎公園(平安神宮前/左京区)

内 第一部 分列行進
第二部 アトラクション
第三部 車両展示

※交通規制にご協力ください。



試験・就職支援

※対象年齢など詳細はWebをご確認ください。

福知山高等技術専門学校 令和7年度 4月入校生二次募集(選考試験)

- ①自動車整備科
- ②ものづくり基礎科

学科試験、面接試験を実施します。

定 ①10人程度 ②15人程度 **料** 入校選考料①2,200円(②は不要)
受 願書などを同校へ持参・郵送※簡易書留(～1月22日必着)
※ただし、新規学卒者以外の方は、住所地管轄のハローワーク
で相談・手続きが必要

- ③総合実務科

実技試験、面接試験を実施します。

定 10人程度 **対** 知的障害者
受 願書などを住所地管轄のハローワークへ提出(～1月22日)

- ④キャリア・プログラム科

学科試験、実技試験、面接試験を実施します。

定 5人程度 **対** 精神障害者、発達障害者
受 願書などを住所地管轄のハローワークへ提出(～1月22日)

①～④▶ **日** 2月1日(土) **問所** 同校
〒 620-0813 福知山市南平野町90
TEL 0773-27-6212 **FAX** 0773-27-6213



府立農業大学校 令和7年度 学生募集(一般入学試験(後期))

小論文試験、学科試験、面接試験を実施します。

日 2月14日(金)9時20分～ **料** 入学考査料2,200円
受 願書などを同校へ持参・郵送
(1月20日～31日消印有効)

問所 同校
〒 623-0221
綾部市位田町松前30
TEL 0773-48-0321
FAX 0773-48-0322



海の民学舎11期生 第2回選考試験

漁師になりたい方の技術・知識習得、資格取得、就業を
サポートする「海の民学舎」の研修生を募集します。

日 1月17日(金)8時30分～17時15分
所 京都府水産事務所 **定** 9人
受 願書などを同校へ持参・郵送
(～1月10日消印有効)
問 府水産事務所「海の民学舎」
〒 626-0052 宮津市字小田宿野1029-3
TEL 0772-25-3030
FAX 0772-22-3289



府立医科大学附属病院 看護師採用試験

令和8年4月採用の府立医科大学附属病院看護師の
採用試験を行います。

- ① **1回目** **日** 4月26日(土)、27日(日)
- ② **2回目** **日** 5月3日(土・祝)、4日(日・祝)



①②▶ **定** 100人程度
対 看護師免許を有する方または取得見込みの方
受 申込書を郵送(～4月15日必着)
問所 同大学 総務課
〒 602-8566 上京区河原町通広小路上ル梶井町465
TEL 075-251-5211
FAX 075-211-7093

暮らしガイド

KYOTO Information



- 府庁への郵便物は「〒602-8570 京都府〇課(室)」で届きます。
- 休業日については各施設へお問い合わせください。

はたちの献血キャンペーン

少子高齢化などにより献血できる方が減少しています。新成人の
皆さんも、この機会に献血へのご協力をお願いします。

お知らせ

2025年 農林業センサスにご協力ください

全国の農林業の生産構造や就業構造の実態を明らかにすることを
目的として行う調査にご協力ください。

問 企画統計課
TEL 075-414-4507 **FAX** 075-414-4482

マスコット
キャラクター
つっちー



無資格のあんま、マッサージ施術は 法律により禁止されています

無資格の業者が増えています。施術を受ける際は有資格者である
ことをご確認ください。

問 医療課
TEL 075-414-4652
FAX 075-414-4752



募集

府営住宅入居者募集

府営住宅2月募集は郵送または電子申請で受け付けます。

京都、乙訓・南丹地域

受 Web・郵送(1月31日～2月10日必着)
問 府指定管理者(株)東急コミュニティー 京都府営住宅管理センター
〒 600-8108 下京区五条通新町西入ル西鋸屋町18 トミタビル
7階 **TEL** 075-354-1090 **FAX** 075-354-1092

山城、中丹・丹後地域

受 Web・郵送(1月31日～2月10日必着)
問 府住宅供給公社
〒 602-8054 上京区出水通油小路東入ル丁子風呂町104-2
府庁西別館2階
TEL 075-432-2018 **FAX** 075-432-2049

令和7年 国勢調査員を募集

今年10月1日を期日として全国一斉に行われる国勢調査
に伴い、府内各市町村で調査業務に携わっていただける
方を広く募集します。

受 Web(～3月31日)
問 企画統計課
TEL 075-414-4481
FAX 075-414-4482



 国勢調査2025

前号を読んで ハラスメントを受けた時、我慢するだけではなく色々な方法があると知ることができました。悩んでいる人がいたら伝えてあげようと思います。 京丹後市 Tさん

試験・就職支援

看護師等のハローワーク出張相談

就業相談、就業のための研修、求職登録(無料)などについて、看護職の相談員が相談に応じます。

- ①舞鶴 1月15日(水)13時30分～15時
- ②福知山 1月16日(木)13時30分～15時
- ③プラザかめおか 1月17日(金)13時30分～16時
- ④綾部 1月20日(月)13時30分～15時
- ⑤園部 1月29日(水)9時30分～12時
- ⑥ジョブ・サポートまいづる 2月3日(月)13時30分～15時
- ⑦峰山 2月6日(木)13時30分～15時

①～⑦▶ 所 各ハローワーク 対 看護師等の免許をお持ちの方
問 京都府ナースセンター TEL 075-222-0316 FAX 075-222-0528

ここまるふくし合同就職説明会

府内の18法人が出展。福祉施設の概要や仕事内容に関する質問、希望の働き方などについて事業所の方と直接話せます。

1月18日(土)13時30分～16時
所 京都テルサ 東館(南区) 問 京都ジョブパーク福祉人材コーナー
TEL 075-682-8915 FAX 075-682-4189

マザーズジョブカフェ「春からの仕事を考える! 女性のための社会保険～働き方と収入の壁～」

令和6年10月の法律改正も含めて、女性が安心して働く上で知っておきたい最新の制度内容について、社会保険労務士の講師が分かりやすくお伝えします。

予約制 先着順 無料
1月30日(木)10時～11時30分 所 京都テルサ(南区) 定 20人
対 就職・転職希望者(女性) 受 TEL・Web 保 あり(要予約)
問 京都ジョブパークマザーズジョブカフェ TEL 075-692-3445

京都新世代いけばな展2025「COLOR」

府内で活動する新進気鋭の29流派の若手華道家が、個性豊かないけばな作品を出展します。無料

1月30日(木)～2月4日(火)10時～19時
(2月1日、4日は16時閉場)
●京都新聞社のカメラマンによる撮影講座と撮影会 無料
2月2日(日)11時～、14時～
※各回30分程度
所 京都新聞ビル地下1階(中京区)
問 文化芸術課 TEL 075-414-4221 FAX 075-414-4223

京都環境フェスティバル2025

環境について楽しく学べる参加・体験型のイベントです。お笑い芸人 小島よしお氏や仮面ライダーのステージショー、ふれあい移動水族館など。無料

2月1日(土)9時45分～16時
所 京都パルスプラザ(伏見区)
問 同実行委員会事務局
TEL 080-2462-6200(担当:廣瀬)
kankyo-fes@screen-cre.co.jp

第6回 耳のことフェスタ

京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山崎博司氏による講演「難聴医療のこれから～病院としての取り組み～」のほか、聞こえを補う機器の紹介や情報展示、抽選会なども。

2月1日(土)10時30分～15時 無料
所 八木市民センター「iスタやぎ」(南丹市) 手 あり(文字情報、ヒアリングループもあり) 問 京都府聴覚言語障害センター 耳のことフェスタ担当 TEL 0774-30-9000 FAX 0774-55-7708

きょうと食の安心・安全フォーラム

(株)辻しば漬本舗、(有)グリーンファームソーゴ、ピオ・ラビッツ(株)による食の安心・安全に関する取り組みの紹介や、参加者との意見交換。アンケートへの協力でプレゼント企画あり。

予約制 ※多数抽選 無料
①会場での参加
所 京都学・歴史館(左京区) 定 50人 受 TEL・FAX・Web(～1月15日)
②オンラインでの参加
定 100人 受 Web
①②▶ 2月4日(火)13時30分～15時30分 問 府民総合案内・相談センター TEL 075-411-5000 FAX 075-411-5001
411-5000@pref.kyoto.lg.jp

イベント

北山彩論 vol.2「京額“きょう”の暮らしをふちどる」

大正8年創業の額装の老舗「京額」の3代目店主 岩滝絵美子氏による講演会を行います。予約制 先着順

1月25日(土)13時30分～15時
定 100人 料 500円
受 TEL・Web(～1月24日)
問 所 京都学・歴史館(左京区)
TEL 075-723-4831
FAX 075-366-4830



第8回 Woody コンテスト入賞作品展

府内産スギ・ヒノキの特性を生かした木造住宅や家具のアイデアを募集する当コンテストの入賞作品のパネルなどを展示します。無料

1月27日(月)～31日(金)
10時～16時
所 府庁旧本館正庁(上京区)
問 林業振興課
TEL 075-414-5011
FAX 075-414-5010



京の名工展

京の名工および京もの認定工芸士による伝統工芸品の展示会。職人による見どころ解説や制作実演・体験や呈茶席なども。無料 (制作体験、呈茶席は有料)

1月29日(水)～2月2日(日)
10時～17時(最終日は16時まで)
所 京都文化博物館(中京区)
問 染織・工芸課
TEL 075-414-4869
FAX 075-414-4842



京都商店街創生フォーラム2025

ゲストーク、商店街での取り組みなどのプレゼンテーション、商店街のこれからを考える交流会など。

予約制 先着順 無料



2月24日(月・休)15時～19時30分 所 京都経済センター(下京区) 定 100人 対 商店街に興味・関心のある方 受 TEL・FAX・Web(～2月14日) 保 あり(要予約) 問 府民総合案内・相談センター TEL 075-411-5000 FAX 075-411-5001 411-5000@pref.kyoto.lg.jp



ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい

ひとり親家庭の新入学児童を知事が直接お祝いします。

予約制 先着順 無料



3月2日(日)10時30分～14時 所 ハートピア京都(中京区) 定 50組100人 対 新入学児童等のいる母子家庭・父子家庭(京都市を除く府内在住) 受 Web・郵送(～1月31日消印有効) 問 ①(母子)府母子寡婦福祉連合会 TEL 075-223-1360 FAX 075-950-1503 ②(父子)府民生児童委員協議会 TEL 075-256-7083 FAX 075-256-7084 ①②▶ 604-0874 中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375



京都府小児がん拠点病院 公開シンポジウム

府内の小児がん患者と家族が治療による影響を正しく知り、長期的に対策できるよう、専門医や看護師、相談員、がん経験者が医療と相談支援の現状をお伝えします。



予約制 先着順 無料

3月22日(土)14時～15時45分 所 府立医科大学附属図書館 図書館ホール(上京区) 定 200人 受 Web(～3月7日) 問 健康対策課 TEL 075-414-4766 FAX 075-431-3970



その他イベントなどの情報はこちら▶



北方領土返還要求 第43回京都府民大会

北方領土の日(2月7日)に合わせて返還に向けた機運を醸成するため、神戸学院大学経済学部 岡部芳彦教授による講演や作文コンクール表彰式などを開催します。 無料

2月8日(土)13時～15時30分 所 京都ガーデンパレス(上京区) 定 150人 問 北方領土返還要求京都府民会議(広報課内) TEL 075-414-4071 FAX 075-414-4075



京のかがやき 2025

府内の地域文化を一堂に集め、光や音の演出とともに、これまでにない新たな民俗芸能ステージを開催します。



予約制 先着順

2月8日(土) 所 祇園甲部歌舞練場(東山区) 定 800人 受 Web(～2月7日) 問 文化政策室 TEL 075-414-4521 FAX 075-414-4223



第5回 SKY ボランティア活動見本市

ボランティア団体が多数出展するマッチングイベント。SKY 名誉大使 笑福亭晃瓶氏による講演&トーク、ボランティア団体の体験・見学、成果品の販売など。先着100人にコーヒー無料サービス。 無料

2月11日(火・祝)12時～15時30分 所 京都市勤業館みやこめっせ(左京区) 対 主にシニア世代 問 (公財)京都SKYセンター TEL 075-241-0226 FAX 075-241-0204



SKY名誉大使 笑福亭晃瓶氏



藤原道長と法成寺 - みやびとうつわ -

京都府埋蔵文化財調査研究センター 松井忍氏による講演。展示作品の解説も。 予約制 先着順 無料



2月15日(土)13時30分～15時 所 府立図書館3階(左京区) 定 50人 受 Web・来館(～当日) 問 所 同館 企画調整課 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653



りょくゆう 緑釉陶器香炉

京都府からの情報発信

エフエム京都 (α-STATION) ■ Kyoto Smile Message (木)10時台 (「Kyoto Child Smile」内) ■ Meets the Kyoto (月)～(金)17時台

KBS京都ラジオ ■ 京都トークRUN (月)または(火)12時～ (「ま～ぶる!」内) ■ きょうと ほとと情報 (月)～(金) 各3回 / (土)・(日) 各1回

KBS京都テレビ ■ あったか京都! 第4(月)19時30分～20時 特派員の府政レポートや知事とのトークなどを通じて京都府の温もりと驚きを伝えます



1月のプレゼント

京都肉

赤身のモモ肉
しゃぶしゃぶ用 (520g)

正解者の
中から抽選で

15人

きめ細やかな脂が誘う上質な舌ざわりは、まるでシルクのように繊細ななめらかさ。時代を超えて多くの食通たちをうならせてきた京都の至宝を、ぜひご賞味ください。

クロスワードクイズを解き、
答えを完成させてください

【ヨコのカギ】

- ① 牛若丸の修行の地としても有名な京都市左京区にある「〇〇〇山」
- ② 時計回りで周回する交差点のこと
- ③ 京都府広報監は「〇〇まる」
- ④ 〇〇を立てずに丸く収める
- ⑤ お茶を飲むために使います

【タテのカギ】

- ① 京都丹後鉄道の「〇〇〇〇号」は、食事をしながら旅ができる電車です
- ② ごま油に唐辛子を加え加熱して作る香味油
- ③ 天橋立を逆さに見る「〇〇のぞき」
- ④ 警備員の別名
- ⑤ 「理数系」。数は「数学」、理は?
- ⑥ 刀を収めるための筒状の入れ物

① D	②	③	■	④ B
⑤			⑥	
⑦		■	⑧ A	
	■	⑨	■	
■	⑩	C		

大阪・関西万博のテーマは

答え

いのち

A	B	C	D
---	---	---	---

未来社会のデザイン

応募方法

● **はがき・メール** 下記の7項目を記入し、ご応募ください

- ① クロスワードの答え
- ② 郵便番号
- ③ 住所
- ④ 氏名
- ⑤ 年齢
- ⑥ 電話番号
- ⑦ 今月号をきっかけに行動した・しようと思っていること

〒602-8570 府広報課「クイズ」係 ※宛先住所は不要です

✉ koho@pref.kyoto.lg.jp

● **応募フォーム** 府のHPからアクセスしてください



← 携帯・スマホからの応募はこちらから

締め切り 1月15日(水)消印有効

- ※記入漏れ・判読不明などがある場合は無効となりますのでご注意ください
- ※個人情報(住所など)は賞品の発送のみに使用します(府から住所などを問い合わせることはありません)
- ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます
- ※頂いたコメントを匿名で掲載させていただく場合があります
- ※先月号の答えは「ハラスメント」。11月号の応募総数は5,288通でした



賞品に
野菜などは
含まれません



ハラスメントです

京都府の人口 2,521,368人 (男:1,202,520人 女:1,318,848人) 世帯数 1,224,051世帯 (令和6年11月1日現在)

- 【配布】 舞鶴市: (公社)舞鶴市SC ☎0773-64-3233
 亀岡市: (公社)亀岡市SC ☎0771-24-7423
 長岡京市: (株)ワイズソリューション ☎075-325-5647
 久御山町: (公社)久御山町SC ☎075-633-5500
 宇治田原町: 宇治田原町SC ☎0774-88-4333
 木津川市: (公社)木津川市SC ☎0774-72-6690

- 福知山市: (公社)福知山市SC ☎0773-23-7677
 京都市: (株)日本情報サービス ☎075-644-9573
 大山崎町: (公社)大山崎町SC ☎075-956-7561
 八幡市: (公社)八幡市SC ☎075-983-0822
 京田辺市: (公社)京田辺市SC ☎0774-64-8822
 その他: (株)京都新聞折込サービスセンター ☎075-257-3100

- 綾部市: (公社)綾部市SC ☎0773-42-9030
 向日市: (公社)向日市SC ☎075-932-3987
 宇治市: (株)ワイズソリューション ☎075-325-5647
 城陽市: (公社)城陽市SC ☎0774-52-9486
 精華町: (公社)精華町SC ☎0774-98-0510

【発行】 京都府広報課 ☎075-414-4074 ☎075-414-4075 ✉ koho@pref.kyoto.lg.jp